

第1学年国語科学習指導案

- 1 単元名 おはなしをよんで、すきなばめんをしょうかいしよう。
教材名 「サラダでげんき」(東京書籍1年下)

2 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元では、小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の(1)ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」(1)オ「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」と、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のイ(カ)「文の中における主語と述語の関係に注意すること。」を取り上げて指導する。

②身に付けたい力に向けての言語活動とその特徴

本単元では、「C 読むこと」の言語活動例「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を具体化した「物語の好きな場面を選び、その場面を見せながら理由もつけて紹介する。」という言語活動を位置づける。ここで取り上げる言語活動は、「誰が」「何をした」のかを正しく読み取り、自分の好きな場面を友達に紹介し合うものである。まず、自分の好きな場面を見つけるためには、物語の中の「誰が」「何をした」かをはっきり読みとっていなければならない。また、好きな場面を選ぶことは、書いてある文章だけで判断するのではなく、文章を読み自分の経験とも結びつけながら想像を膨らませることで楽しさを感じるものである。したがって、「読んだ本について、好きな場面を紹介する。」活動は、相手にも「誰が」「何をした」場面かをはっきりと伝え、その場面を選んだ理由も自分の経験と結びつけて話す力が必要となり、指導事項の達成に向けて有効であると考えられる。また、伝えあうという活動は、友だちがどんな本の内容をどんな理由で選んでいるのか興味がわき、また自分の選んだ本の場面や理由も聞いてもらいたいという目的意識、相手意識がもて、意欲的に学習に取り組めるものと考えられる。さらに、好きな場面を伝え合うことで本への興味も湧き、読んでみようという気持ちになってくれることを期待している。

本教材は、お母さんの為にサラダを作ろうとするりっちゃんの前に、動物たちが次々と出てきて、サラダに入れる材料とその効果を教えるという楽しいお話である。動物たちの登場によって場面が分かかれ、同じようなやり取りが繰り返され、「誰が」「何をした」かが読み取りやすい内容になっている。また、動物たちの登場の仕方(行動)、サラダに入れるとよいものとその理由(会話)が工夫されており、それぞれの動物ならではの個性が表れている。さらに、病気のお母さんのために何かしてあげたいというりっちゃんの思いは、どの児童も素直に共感できるものであり、助けに出てくる動物たちの行動も共感的に受け入れやすい。したがって、登場人物の行動や会話に着目して、場面を捉えて想像しながら読むのに適した教材である。

(2) 児童観

児童は、7月には「おおきなかぶ」で、登場人物を呼びに行く時の会話やかぶを引く動作化を入れたりしながら、場面の様子を想像し物語の展開を楽しんで読むことができた。また、好きな場面を選びそれぞれが表現を工夫しながら音読した。9月には「かいがら」で、人物の行動や会話を中心に読み、想像を膨らませ、物語を読んだ感想を交流しあった。児童は、みな意欲的に学習に取り組むことができる。しかし、発表するときには、恥ずかしがったり自信がなかったりして声が小さい児童も多い。また、ひらがなの定着が遅かった児童は文を読むことが苦手で、内容を理解するまでに時間がかかる。内容をよく理解するためには、全体で音読の練習時間を多く取るとともに、個別でも語のまと

まりに気をつけさせながら音読練習をする必要がある。

読書については、4月当初から学校図書館に毎日のように通い、楽しんで本を借りている児童が多い。しかし、借りている本は図鑑やクイズのような絵を見て楽しむものが多く、物語を自分で読み、想像しながら楽しむことはできない児童もいる。

(3) 指導観

第一次では、まず教師が物語の好きな場面を紹介するデモンストレーションを行い、単元のゴールイメージを示す。そして、それぞれ自分が読んだ物語の好きな場面を選び、みんなに紹介するという学習の目的意識を持たせる。次に、教師による教材文の読み聞かせを聞き、物語の初発の感想を交流する。そして、全員で教材文を読み、どんな動物が出てきたか挿絵の並び替えなどをして順番を確認し、物語の大体をつかむ。並行読書では、「誰が」「何をした」かが分かりやすい内容の物語を教室に用意し、読みの苦手な児童も抵抗なく取り組めるようにする。

第二次では、まず、りっちゃんがサラダを作ることにした理由とサラダを作っている様子を読み取る。次に、動物たちが何を薦め、それを食べるとどうなるのかをワークシートにまとめる。そして、動物たちは、どんなことを考えて材料とその効果を教えたのか読み取る。動物たちが選んだ材料はその動物たちの好物であったり、動物に関係の深いものであったりすることを押さえる。また、元気になったらどうなるかには、動物たちの得意なことや自慢が入っていることにも気付かせる。また、動物たちとりっちゃんの会話部分はペアで動作化しながら読み、動物たちの特徴やりっちゃんの気持ちをよりはっきりと捉えられるようにする。最後にサラダを食べたお母さんとりっちゃんの様子を想像する。1時間ごとに、好きな場面を見つけ簡単な理由もつけて書かせ発表することで、好きな場面の見つけ方や発表の仕方を身に付けさせていき、最後に全体の場面の中で自分は何の場面が好きか、理由をつけて紹介し合う。

第三次では、自分が読んだ物語の好きな場面を理由をつけて紹介し合う。本に付箋を付けたり、メモをしたりして準備をし、紹介の際には選んだ本の好きな場面を見せながら紹介させる。

本単元を通じて、物語の「誰が」「何をした」かに着目して読むことによって、物語の内容が理解しやすくなることに気づき、その人物の気持ちや様子を考えることで、想像する楽しさを感じさせたい。そして、友達に紹介してもらった本にも興味を持ち、読書の楽しみが広がっていくようにしたい。

(4) 研究主題との関連

○語彙力を増やすために、意味の分からない言葉を書き出し、実際に使えるように可視化しておく。

○主体的・対話的で深い学びを実現するために、単元計画を児童と考え意欲を持って取り組めるようにする。授業では、読み取りの際に、登場人物になったつもりで会話文を音読したり、動作化を取り入れたりしながら、個人・ペア・集団で「誰が」「何をした」かを読み取る。そして、登場人物の気持ちや様子を想像させ、好きな場面を紹介し合う。

○本単元では、図書館資料を活用し並行読書を進めていく。そして、第三次で物語を想像豊かに読み、好きな場面を紹介し合う。

3 単元の目標

○「誰が」「何をした」かを考えて読み、好きな場面を紹介することができる。

4 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|-------------------|--|--------------------------------------|
| ・物語を楽しんで読もうとしている。 | ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む【C(1)ウ】 ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う【C(1)オ】 | ・文の中における主語と述語の関係に注意している。 【伝国イ(カ)】 |

5 指導と評価の計画（全14時間）

| 次 | 時 | ○ 指導のねらい（目標） ・ 学習内容 | 評 価 | | | |
|---|--|--|---|---|---|--|
| | | | 関 | 読 | 言 | 評価規準 (評価方法) |
| 一 | 1 | ○学習の見通しを立てることができる。 ・好きな場面の紹介を聞き、ゴールイメージをもつ。 ・教材文の読み聞かせを聞き、感想を出し合う。 ・単元計画を立てる。 ・並行読書に取り組む。 | ◎ | | | ◎物語を楽しんで読もうとしている。(発言・行動観察) |
| 二 | 2 | ○教材文を読んで内容の大体や登場人物についてとらえることができる。 ・教材文を音読する。 ・物語に出てきた動物と、出てきた順番を確かめる。 ・初発の感想を書く。 | ○ | ◎ | ◎文の中における主語と述語の関係に注意している。 【伝国イ(カ)】 (音読・ノート・ワークシート) | |
| | 3 | | | | | |
| | 4 | | | | | ○第一・二場面(P6L1~P8L6)で、りっちゃんがサラダを作ることになった場面の様子を読み取ることができる。 ・りっちゃんが、サラダを作ろうとした理由を考える。 ・りっちゃんがしたことを順に考える。 ・好きな場面を選び紹介する。 |
| | 5 | ○第三場面①②(P8L7~P11L1)で、のら猫や犬が教えてくれたことや、場面の様子を読み取ることができる。 ・のら猫や犬が教えてくれたことを確認し、なぜ薦めたのか考える。 ・りっちゃんのしたことを確かめる。 ・好きな場面を選び紹介する。 | ◎ | ◎のら猫や犬が教えてくれたことを読み取り、のら猫や犬とりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。【C(1)ウ】 (発言・ノート) | | |
| 6 | ○第三場面③④(P11L2~P12L10)で、すずめやありが教えてくれたことや、場面の様子を読み取ることができる。 ・すずめやありが教えてくれたことを確認し、なぜ薦めたのか考える。 ・りっちゃんのしたことを確かめる。 ・好きな場面を選び紹介する。 | ◎ | ◎すずめやありが教えてくれたことを読み取り、すずめやありとりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。【C(1)ウ】 (発言・ノート) | | | |

| | | | | | |
|----|---------------|--|--|---|--|
| | 7 | ○第三場面⑤⑥ (P13L1~P14L10) で、馬や白くまが教えてくれたことや、場面の様子を読み取ることができる。 ・馬や白くまが教えてくれたことを確認し、なぜ薦めたのか考える。 ・りっちゃんのことを確かめる。 ・好きな場面を選び紹介する。 | | ◎ | ◎馬や白くまが教えてくれたことを読み取り、馬や白くまとりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。 ア【C(1)ウ】 (発言・ノート) |
| 本時 | 8 | ○第三場面⑦(P15L1~P16L4)でアフリカ象が教えてくれたことや、場面の様子を読み取ることができる。 ・アフリカ象が教えてくれたことを確認し、なぜ薦めたのか考える。 ・りっちゃんのことを確かめる。 ・好きな場面を選び紹介する。 | | ◎ | ◎アフリカ象がしてくれたことを読み取り、アフリカ象とりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。 ア【C(1)ウ】 (発言・ノート) |
| | 9 | ○第四場面 (P16L5~P16L10) でサラダを食べたときのお母さんやりっちゃん、動物たちの気持ちを考えることができる。 ・お母さんとりっちゃんの会話を想像し、吹き出しに書かせる。 ・好きな場面を選び紹介する。 | | ◎ | ◎サラダを食べたときのお母さんやりっちゃん、動物たちの気持ちを想像しながら読んでいる。【C(1)ウ】 (発言・ノート) |
| | 10 ・ 11 | ○「サラダでげんき」のお話の中の好きな場面を紹介し合う。 ・好きな場面を選び理由をつけて紹介させる。 | | ◎ | ○ ◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。 【C(1)オ】 (発表・ノート) ○文の中における主語と述語の関係に注意している。 【伝国イ(カ)】 |
| 三 | 12 ・ 13 | ○読んだ本の中から、好きな場面を紹介し合う。 ・好きな場面を選び理由をつけて紹介させる。 | | ◎ | ○ ◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。 【C(1)オ】 (発表・ワークシート) ○文の中における主語と述語の関係に注意している。 【伝国イ(カ)】 |
| | 14 | ○学習のまとめをする。 | | ◎ | ◎思ったことや分かったことを伝え合おうとしている。 (発言・ノート) |

6 本時の指導 (8 / 14)

(1) 本時の目標

○アフリカ象がしたことや、その時の場面の様子を読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

【読】アフリカ象がしてくれたことを読み取り、アフリカ象とりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。

(3) 学習の展開

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|---|--|---|---|
| 導入 (5分) | 1 本時のめあてを確かめ、音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を簡単に振り返る。 ・サラダに入っている物を確認する。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて アフリカぞうのしたことをかんがえ、すきなところを見つけよう。 </div> | | | |
| 展開 (35分) | 2 アフリカ象がしてくれたことを読み取る。 ・アフリカ象はどんなことをしたのかを確認する。 ・アフリカ象のしたことを動作化する。 3 アフリカ象の場面の中で好きなところを紹介し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆予習でしてきた内容を確認する。 ・アフリカ象の協力のしかたは、これまでの動物たちとは異なることに気付かせる。 ◆動作化させることで、アフリカ象の様子を捉えやすくする。 ・スプーンを鼻で握って力強くくりくりんと混ぜる動作を意識してさせる。 ・アフリカ象の話し方を工夫させる。 ・得意なことを活かして手伝いに来たことに気付かせる。 ◆個人で書かせたあと、ペアで読み合い全体で発表し合う。 ◆話型を参考に書かせる。 ぼく(わたし)は、〇〇が好きです。 わけは、〇〇だからです。 | 読 アフリカ象が教えてくれたことを読み取り、アフリカ象とりっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。 【C(1)ウ】 (発言・ノート) |
| まとめ (5分) | 4 学習をふりかえる。 | ◆今日の勉強で分かったこと。友だちの発表を聞いて思ったこと。次にやってみたいことなどを書かせる。 | |

(4) 評価規準 B ◎アフリカぞうのしたことを、文章をもとに口調や様子をイメージして動作化したり、好きなところを見つけたりしている。

(発言・ノート)

(5) 準備物

教材文の拡大

挿絵

(6) 板書計画

十月十七日

めあて

アフリカぞうのしたことをかんがえ、すきなところをみつけよう。

せかせか

いそいで
あわてて



あぶら
しお
す

あじつけ

スプーンをはなでにぎって、カブよくくりんくりんとまぜました。

ながいはな
ちからもち

↑
とくい

ふりかえり

- ・ りっちゃんのためにわざわざきてくれて、アフリカぞうはやさしいことがわかった。
- ・ アフリカぞうがサラダをまぜてくれて、りっちゃんはうれしかったとおもった。